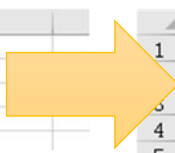


浄化槽台帳システム

～ 要注意事項(CSV ファイルの取り扱い) ～

★CSV ファイルの編集手順（ダブルクリックで開かないでください。）

CSV ファイルをダブルクリックで開くと、エクセルが意図しない変換をしてしまいます。

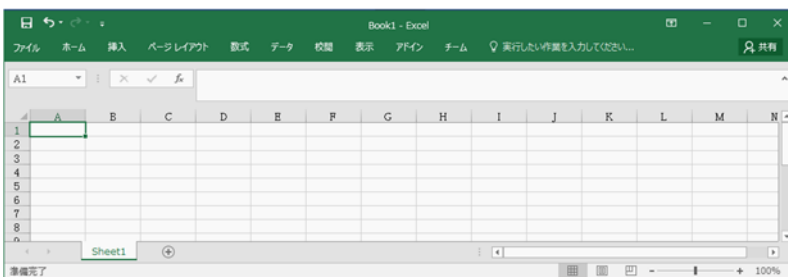


	A		A	B
1	001		1	1
2	3-1			3月1日
3				
4				
5				

なぜ??

ダブルクリックで開くとエクセルが自動で判別し、日付や数値型といったデータ型に自動変換します。

エクセルファイルを新規作成ファイルで開きます。



CSV ファイルを開く場合、データ→テキストファイルを選択します。



カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータを選択し、次に進みます。

[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式

データのファイル形式を選択してください：

カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)

スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

カンマにチェックを入れ、次に進みます。

区切り文字

タブ(T)

セミコロン(M)

カンマ(C)

スペース(S)

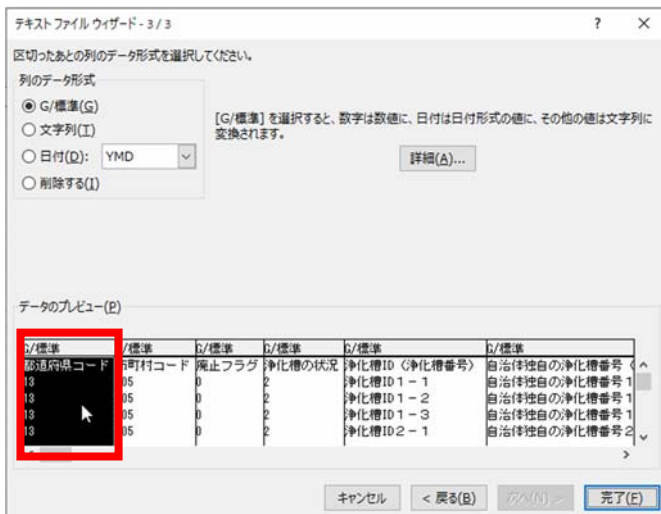
その他(O):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

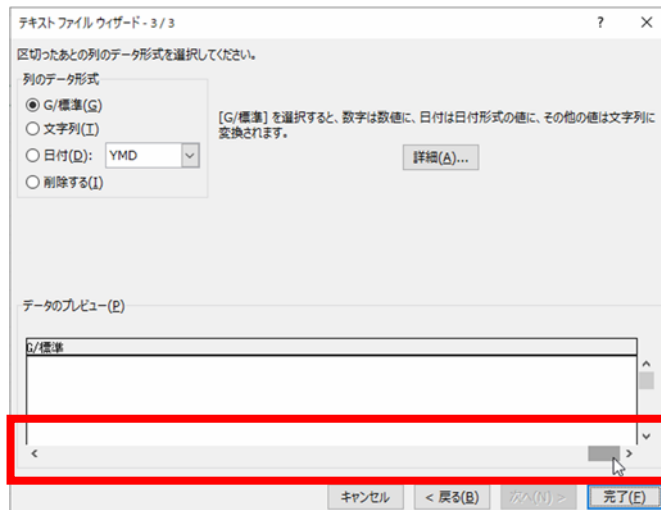
文字列の引用符(Q):

※注意事項(CSV ファイルの取り扱い)

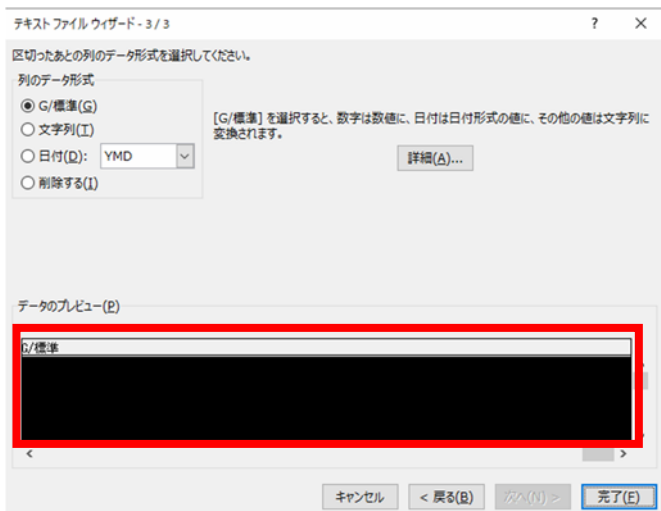
データのプレビューで左端の列を選択します。



下部の横スクロールバーで右端までスクロールします。

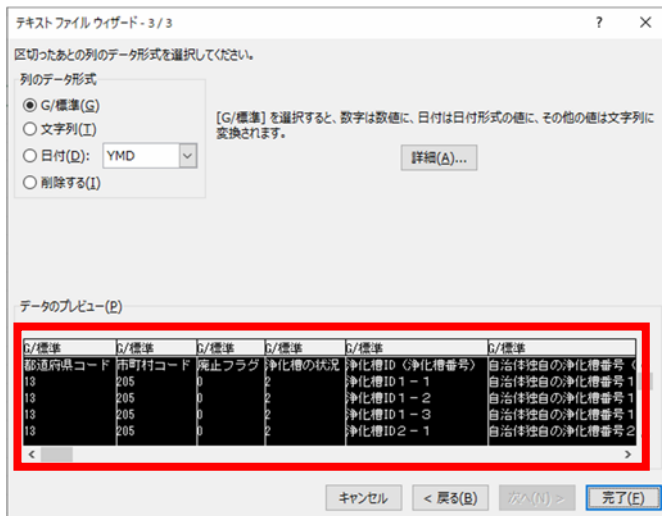


Shift キーを押しながら右端の列をクリックして全選択します。



※注意事項(CSVファイルの取り扱い)

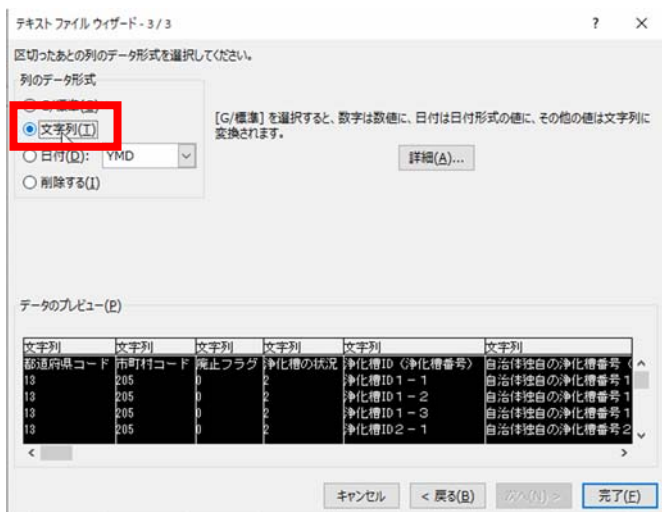
横スクロールバーを操作し、すべての項目が選択（黒色）になっているか確認します。



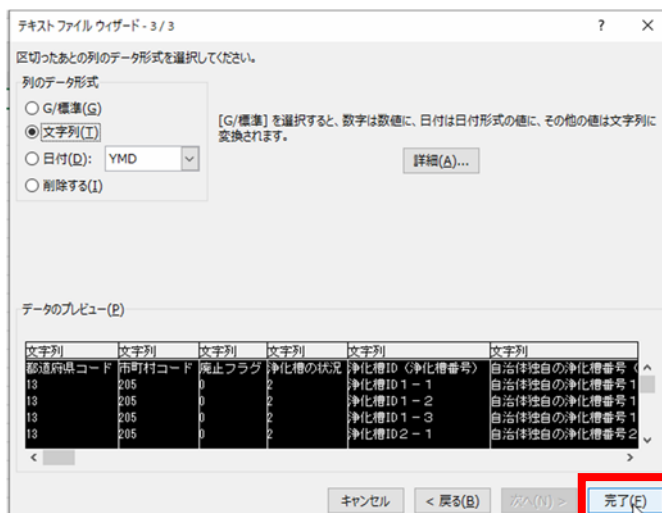
選択状態になってなかったら？

データのプレビューで左端の列を選択する
ところからやり直してください。

列のデータ形式を「文字列」に設定します。

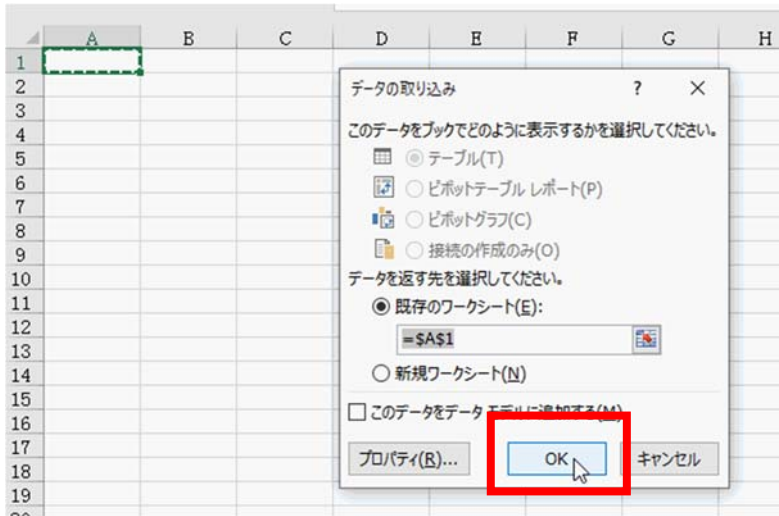


完了をクリックします。



※注意事項(CSV ファイルの取り扱い)

OK をクリックすると、エクセルに取り込まれます。

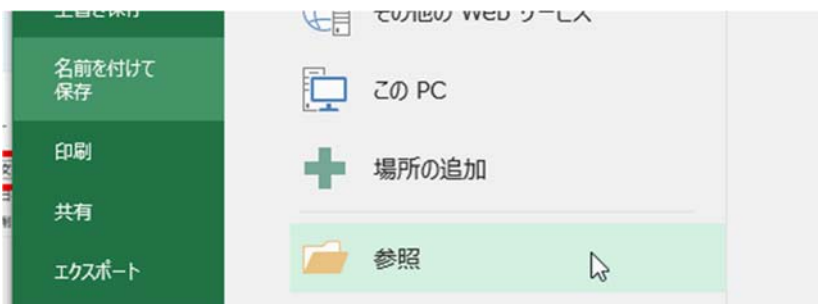


どうなった？

文字型となり、値が自動で変換されずに取り込めます。

	A
1	001
2	3-1
3	
4	
5	

★保存手順（通常操作で保存すると、CSV ファイルでなく、xlsx ファイルでの保存となります。）
名前を付けて保存を選択します。



ファイルの種類を CSV に変更して保存します。

